

横浜型小中一貫教育

大鳥・本牧中ブロック

大鳥中学校・本牧中学校・大鳥小学校・本牧小学校・本牧南小学校・間門小学校

平成24年度より、横浜市立小中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有することなどの物理的な条件に関係なく、小中教職員が情報交換や連携をおこない、義務教育9年間の連続性を図るものです。そして、小中一貫教育カリキュラムに基づく教育活動を推進していきます。これによって、子どもの学力向上や児童生徒指導上の課題の解消を目指していきます。

《大鳥・本牧中ブロック小中一貫教育スローガン》

「ふるさと本牧」を担う子どもの育成

～子ども・家庭・地域・教職員の連携の充実を通じて～

《大鳥・本牧中ブロックの9年間で育てる子ども像》

- 本牧のまちと関わり合いながら学び、まちを大切に子ども
- 多様性を尊重し、豊かなコミュニケーション力をもつ子ども
- 学習や生活のよい習慣を身につけ、確実に自分の力を伸ばそうと努力する子ども

6月

2中4小合同授業研究会

大鳥小、間門小で授業研究をおこない、授業参観と教科別の研究討議をします。

7月

2中4小合同地区懇談会

小中合同で中学校を会場におこないます。子供の健全育成を目的に、地域での行事や子供の様子など、情報交換を行います。

10月

2中4小合同授業研究^

小学校2校で授業研究をおこない、授業参観と教科別の研究討議をします。



10月 児童生徒交流日

小学校6年生が中学校を訪問して、中学の授業を体験したり部活動のようすを見学したりします。また生徒会本部による中学校の紹介もあります。

1月下旬 大鳥中職場体験

2月上旬 本牧中職場体験

中学校でおこなわれている職場体験の中で、中学生が小学校の先生の仕事も体験するというかたちでの小中交流を進めています。



BSF や特別クラブ（綱引・金管等）、臨時の早朝練習などに、中学生ボランティアとして、また卒業した先輩として、手伝いやアドバイスをしに来てくれます。